

『奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち』の情報誌

広
報

おいらせ

Public
Relations
2016
No.138

8



**【特集】～「もったいない」を合言葉に～
ごみの減量化とリサイクルに取り組もう**

【表紙】7月3日・避難所運営訓練での炊き出しの様子
(関連記事31ページ)

目次

- 03 — 特集「ごみの減量化とリサイクルに取り組もう！」
- 13 — スポーツおいらせ
(いちょうマラソン大会結果)
- 14 — インフォメーション
相談窓口一覧
各種催し情報ほか
- 18 — 健康長寿おいらせコーナー
- 20 — 子育て情報
- 24 — 地方創生先行型事業
の検証結果
- 28 — まちのわだい
海岸防災林植樹会
長寿祝い金贈呈
児童館説明会 ほか
- 30 — 戸籍の窓
- 32 — Zoom Up
石田 正人 さん

「おいらせ町の魅力が満載！ 「おいらせ歴史と自然かるた」完成

おいらせ町歴史と自然を愛する会（小西博会長・町文化協会加盟団体）が、「おいらせ歴史と自然かるた」を制作しました。このかるたは、同会の設立30周年を記念して、町の歴史や自然、祭りなどの地域資源をテーマに作られたものです。同会の加藤英子事務局長は「数ある地域資源のなかからどれを取り上げていくかは、会の皆で会議を重ねて慎重に選別していききました。また、短く内容を伝える読み札づくりは苦労したところです」と語ります。

かるたは町内小中学校や保育園、福祉施設などに配布されており、今後は、カルタを活用したかるた大会やレクリエーションなども企画されているようです。



▲完成したかるたを手に笑顔を見せる加藤事務局長。

「歴史と自然かるた」 一般販売会を開催

この度制作したかるたを広く活用していただくため、一般販売会を開催いたします。興味のある方は、この機会にぜひお買い求めください。

○日時 8月27日④ 13時～16時

○場所 中央公民館

○町歴史と自然を愛する会

事務局 加藤

☎0178-564409



出前講座

「歴史と自然かるた」 利用しませんか

かるたを通じて町の名所や旧跡、自然の美しさを多くの方にも知ってもらうため、町と町歴史と自然を愛する会では、希望する団体などに出前講座を行っております。読み札の解説のほか、かるた大会の実施支援などもできます。興味のある方は、お気軽にお申し込み、お問い合わせください。

○開催時期 7月～12月下旬

○申込期限 8月31日④

○申込先 社会教育・体育課

☎0178-564276

おいらせ町の四季を発信中！

四季で異なる町の豊かな自然や風物詩を、町ホームページで紹介中！

<http://www.town.oirase.aomori.jp/site/oirasekankou/>

ちょっとした時間にぜひ、ご覧ください。新たな発見があるかも！



～「もったいない」を合言葉に～

ごみの減量化とリサイクルに取り組もう！

大量生産・大量消費・大量廃棄のライフスタイルが当たり前となつてきている現在、将来には天然資源の枯渇や地球温暖化の進行、最終処分場の不足、ごみ処理経費の増大が懸念されています。今回の特集では、「もったいない」をキーワードに資源のリサイクルに焦点をあてて考えてみたいと思います。

青森県のリサイクル率は

全国最下位！

一般廃棄物処理実態調査（平成26年度実績）によると、おいらせ町の1人1日あたりのごみ排出量は879gで県内16位、リサイクル率は20.7%で県内9位となっております。全国平均では、1人1日あたりのごみ排出量が947g、リサイクル率が20.6%となっております。一方で、青森県全体を見ると、1人1日あたりのごみ排出量は1046gで全国45位、リサイクル率は13.5%で全国47位です。

このことから青森県は、「ごみの排出量」と「リサイクル率」ともに、全国下位レベルにあることが分かります。その特徴としては、「ごみの排出量」では「生活系ごみ」や「事業系ごみ」がともに多く、「リサイクル率」では、特に「紙ごみ」のリサイクルが遅れているという結果が出ています。

町のリサイクル対策4つの柱

町では、資源リサイクルを推進するために、次の4つの取り組みを行っています。

①「資源ごみ」の分別徹底

毎月4回（水曜日）を「資源

1 「もったいない」は現状を意識することから

ごみ」の収集日として、缶類、びん類、紙類（新聞、段ボール、雑誌・チラシ、紙パック、紙製容器包装）、プラスチック類（ペットボトル、プラスチック製容器包装）の9分別をお願いします。

②小型家電のリサイクル回収

回収拠点を設定したボックス回収と町内集会所での巡回回収を実施しています。

③資源集団回収事業

奨励金の交付

町内会などの資源集団回収の取り組みに対して1キロあたり10円の奨励金を交付しています。

④家庭用生ごみ処理機の購入助成

生ごみの堆肥化のため家庭用コンポストなどの購入に対して助成金の交付を行っています。

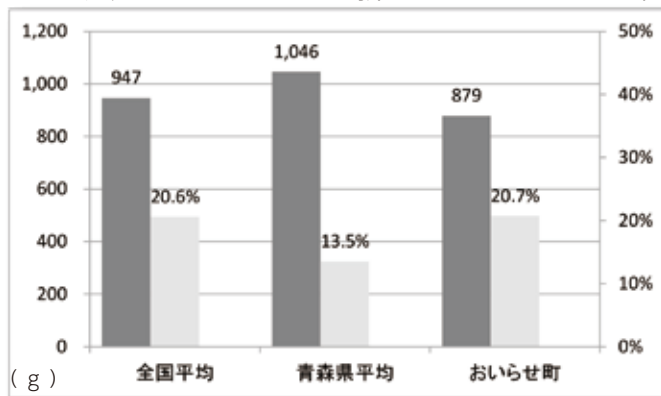
しかしながら、より効果的な資源のリサイクルのためには、現在の取り組みを町民全体へ広げるとともに、新たなリサイクル品目への挑戦が必要になってきていると考えています。

容器包装の識別表示

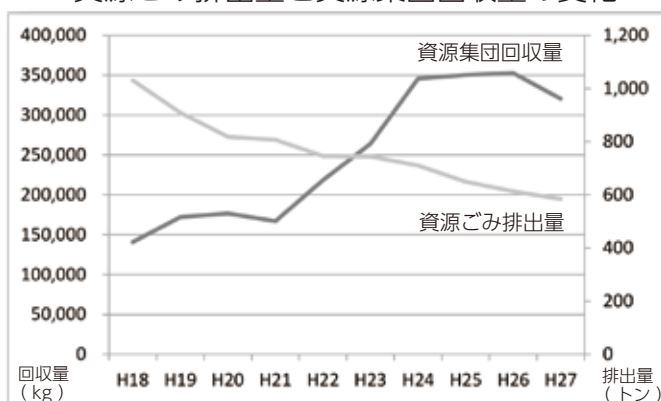
プラ マーク		プラスチック製 容器包装
紙 マーク		紙製容器包装
ペット ボトル		飲料・酒類・ 特定調味料用の ペットボトル
スチール 缶		飲料・酒類用の スチール缶
アルミ 缶		飲料・酒類用の アルミ缶

出典：経済産業省ホームページ

1人1日あたりのごみ排出量とリサイクル率



資源ごみ排出量と資源集回収量の変化※



※「資源集回収」については、6ページで詳しく解説いたします。

出典：環境省・一般廃棄物処理実態調査（平成26年度実績）

2 「もったいない運動」でごみの減量化！

焼却処分では「資源」も「処分料」ももったいない！

ご家庭で召し上がったお菓子の紙箱や、スーパーで購入した食料品のパックを「可燃ごみ」として排出していませんか？ 紙箱は紙製容器包装（「紙」マーク）、パックはプラスチック製容器包装（「プラマーク」）に分別して、「資源ごみ」として排出することにより、「可燃ごみ」の減量化と資源のリサイクルに繋がります。

平成9年4月から施行された、「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）」では、すべての人々がそれぞれの立場でリサイクルの役割を担うことを基本理念に、次のように定められています。

- ① 消費者である各家庭の皆さんがごみを分別して出すこと
- ② 一般廃棄物の処理責任者である町が、ごみを分別して収集すること
- ③ 事業者が資源物を再商品化すること

ご存知ですか、容器包装

リサイクル法の「識別表示」

また、資源ごみ回収日によく寄せらる問い合わせに、「プラスチックのハンガーなどを資源ごみに出したら、残されていた」というものがあります。実は、この法律で決められている資

源となるごみは「商品を入れたものや包んでいるもの」で、それぞれのリサイクルマークがあるものなのです。（上の図参照）

ハンガーなどは容器ではないので、おいらせ町ではプラ製品として燃えるごみでの回収となります。プラスチックの他にも、紙ごみやペットボトルなど、資源としてリサイクルできる「容器・包装」にはマークが付されています。分別回収された「資源ごみ」はごみ収集車で清掃工場（十和田市）に運ばれ、工場内の施設または民間処理施設で中間処理された後、再生事業者へ引き渡され、最終的に再商品化が行われます。

ごみ処理費用削減のためにも、リサイクルマークの確認、分別、水洗いを願います。

町の計画と目標

町では、「おいらせ町分別収集計画」（第8期）を今年6月に策定しました。この計画では、ごみの減量化と最終処分場の延命化を実現するため、地域住民・事業者・行政が一体となった容器包装廃棄物の発生抑制、再使用、リサイクルの具体的な取り組み方法が示されています。年間430tの容器包装廃棄物を分別収集することを目標として掲げ、月4回の「資源ごみ」の収集で実現することとしています。

3 「もったいない運動」で有用資源を守る

不燃ごみより

小型家電リサイクル回収！

ご家庭で使用しなくなった電化製品を「不燃ごみ」として近くのごみステーションに出していませんか？ 町では小型家電リサイクル回収事業を実施して、電化製品に含まれるレアメタルなどの有用資源のリサイクルをしています。

電化製品がごみステーションに出された場合、ごみ収集車で清掃工場（十和田市）に運ばれ、十和田粗大ごみ施設で破碎・選別されます。その後、処理物のうち可燃物は焼却処理、金属部品はリサイクル業者へ引渡しされます。しかし、大部分の破碎不燃物や処理困難物は最終処分場に埋立処理されています。埋立処分される電化製品には、まだまだ「もったいない」資源物が残されています。

そこで、国では電化製品に含まれる有用資源（金、銅、レアメタル等の貴金属）を適正にリサイクルするための法律を平成25年4月から施行しました（使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律（小型家電リサイクル法））。

小型家電リサイクル回収を

ご利用ください！

町でも、平成27年9月から小型家電リサイクル回収事業を実施事業として開始しました。国（環境省）の支援制度を活用して、小型家電の回収ボックスを町内5箇所の回収拠点に設置してボックス回収をするともに、月に1回町内の集会所38箇所をトラックで巡回して回収しています。前年度の実証事業を踏まえて、平成28年4月から取り組みを本格運用とし、引き続き、ボックス回収と巡回回収を実施するほか、事業PR活動として8月21日に開催される、いきいき健康まじりの会場内でのイベント回収や、回収強化月間として、12月と3月の休日における巡回回収を実施する予定です。

回収できる電化製品は、使用済みの家庭用電気機器です。（テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、乾燥機、エアコンは回収できません）ボックス回収は町内5箇所に設置している回収ボックスの投入口へ施設開館時間に投入してください。また、巡回回収の日程は、毎月のご広報でお知らせしています。日時を確認して、集会所まで直接ご持参ください。（詳しくは8頁）



【小型家電回収ボックスの設置場所】

- ①中央公民館／②東公民館／③北公民館／④みなくる館／⑤阿光坊手づくり古墳館

【ボックスに入れてよいもの】

40cm×20cmの投入口に入る電子機器類



▶回収場所に家電を持ち寄る人たち



▶古いストープも引き受けてもらえる

4 「もったいない」運動は地域活動の錬金術

集団回収なら、資金になるから

「もったいない！」

日頃、皆さんが口にするジュースのペットボトルや空き缶を、ごみとして捨てていませんか。②では資源ごみとしてリサイクルを！とお伝えしましたが、さらにお得な取り組みがあります。町内会などで、資源集団回収に取り組んでいることをご存知ですか。

町では、「もったいない」を地域が協力して改善しようというリサイクル活動に対して、資源集団回収事業奨励金を交付しています。不要物としてごみに出せば廃棄物として処分料がかかりますが、集団回収で資源物として回収業者に引き取りされる場合、町からの奨励金（引取実績1キログラムあたり10円）をもらうことができます。平成27年度は、35団体におよ

「資源集団回収」とは？

資源集団回収とは、町内会や子ども会などの地域団体でその会員の家庭から排出される紙類（新聞、チラシ、段ボール、紙パック、雑紙など）、びん類（ビールびん、一升びん）、金属類（アルミ缶、スチール缶など）、繊維類（衣類、古布など）、ペットボトルといった資源物を持ち寄り、まとめて資源回収業者に引き渡す自主的な活動のことです。



引き取りできる品目は業者によって違います。

そ320万円の奨励金が交付されました。

資源集団回収に取り組むことで、ごみ処理施設で処理されるごみの量が減るばかりでなく、取り組み団体の活動資金が増加するというメリットがあります。また、ごみを出す側にとっても、「曜日に関係なく」出せるというメリットがあります。

皆さんの取り組みを応援します

まだ取り組みをされていない地域においては、出前講座などを活用して制度内容の勉強からはじめたり、隣接する地域と合同で実施したりする方法があります。ぜひご相談ください。

また、すでに取り組みをされている団体においては回収品目の拡大に挑戦していただくことをおすすめいたします。



▲緑ヶ丘町内会の資源集団回収拠点「緑ヶ丘エコステーション」



▲向山町内会は向山駅構内に集団回収カゴを設置

集団回収の事例 「本村子ども会」

本村子ども会（川村優子会長）は、町内初の衣類回収を行った団体です。本村地区では、本村子ども会が従来から、保護者と子どもたちによる年3回の資源ごみ巡回回収を行っており、古びんや古紙、段ボールなどを集めてリサイクルしていました。さらに、町内会でも本村地区内の複数の場所に資源回収ボックスを設置して、空き缶の回収が行われています。

のは昨年の8月から。資源ごみの回収業者である寺下運輸倉庫（株）より、衣類回収の取り組みについて提案があり、始められました。開始当初は、やはりわずかな量の衣類しか集まらなかったのですが、回を重ねるごとに地域住民への周知も進み、多くの衣類が回収されるようになってきております。

町内会による資源回収ボックスの設置や、子ども会による巡回回収などの取り組みは、町内で徐々に広がりを見せております。地域自らが取り組むことは、ひとりひとりのごみ減量化への意識醸成にも繋がっていくでしょう。

ごみを減らすために、 今できることを考えませんか？



5 「もったいない運動」は家庭から

鍵は「生ごみ」

地球温暖化対策や低炭素・循環型社会の実現に向けた3R活動（ごみを減らすリデュース、再利用するリユース、再利用するリサイクル）の推進は、すぐにできるものではありません。常日頃から町民ひとりひとりが「もったいない」の意識をもって、自身のライフスタイルを見直すことが必要です。まずは、各家庭から取り組んでいただくこととして次の取り組みはいかがでしょうか？

① 買い物のときマイバッグの活用に加えて詰め替え商品の購入など、環境にやさしい買い物に協力してみる。

② 生ごみの水切りを徹底し、食品ロスの削減を心がける。

③ 衣類のリユース・リサイクルに協力する。

④ 集団回収、スーパーなどの店頭回収等を上手に利用する。

3つの「きる」で減量化！

特に、生ごみは紙ごみと並んで家庭からの可燃ごみに占める割合が多く、ごみの減量化が進んでいません。① 食材は使いきる！② 料理は食べきる！③ 生ごみは水気をきる！という「3つの「きる」」を少し心がけていただくと生ごみを減らすことができます。

食品廃棄物リサイクル推進セミナー ～「もったいない運動」を生ごみへ拡大～

可燃ごみの4割を占めるともいわれる生ごみ。なかなか進まない食品廃棄物のリサイクルについて、町民や事業者の意識を高めていただくため、食品廃棄物リサイクル推進セミナー（年4回）を開催します。

≪第1回≫基調講演「食品リサイクル法の概要とリサイクル手法を学ぶ！」

日時：8月26日(金) 13時30分～

場所：東公民館 / 講師：農林水産省担当者

≪第2回≫移動研修「食品廃棄物のリサイクル事例を学ぶ！」（9月下旬開催予定）

研修場所：佐々木総業（株）

バイオ・リサイクルセンター南郷

≪第3回≫ワークショップ「食品廃棄物の減量事例を学ぶ！」（10月下旬開催予定）

講師：なぎさなおこ氏（なぎさカフェ主宰）

≪第4回≫ワールドカフェ「研修を振り返る！」（11月下旬開催予定）

※第2回以降は毎月の広報で再度ご案内いたします。

☎（申込先）環境保健課 環境衛生係
☎0178-56-4218

小型家電のイベント回収を実施します

今年の「おいらせ町いきいき健康まつり」内において、小型家電のイベント回収を行います。

- 日時 8月21日⑩ 9時～15時
- 場所 いきいき館・特設テント
- 特典 小型家電持参の方、先着100人に粗品を贈呈いたします。

☎環境保健課 ☎0178⑤64218



8月8日⑩ 下田地区の各集会所など

巡回時刻	巡回場所
8:30	秋堂
8:45	木崎
9:00	染屋
9:15	間木
9:30	曙
9:45	三田
10:00	三本木
10:15	伝承館
10:30	阿光坊
10:45	新敷
11:00	洗平
11:15	錦ヶ丘

巡回時刻	巡回場所
11:30	向山
11:45	豊原
13:00	北公民館
13:15	古間木山
13:30	鶉久保
13:45	木ノ下
14:05	豊栄
14:15	町宮霊園
14:35	有楽町
14:45	木内々
15:00	中野平

8月9日④ 百石地区の各集会所など

巡回時刻	巡回場所
8:30	東公民館
8:45	味祭館
9:00	藤ヶ森
9:15	川口
9:30	堀切川
9:45	明神山
10:00	横道
10:15	深沢旧会館

巡回時刻	巡回場所
10:30	一川目
10:50	二川目
11:15	百石中
11:30	洋光台
11:45	いちょう公園交流館
12:00	みなくる館
12:15	苗振谷地

※テレビ、洗濯・乾燥機、冷蔵・冷凍庫、エアコンは回収できません。
※巡回時刻までに小型家電を持参してください。また、巡回場所に置き去りにしないでください。

☎環境保健課 ☎0178⑤64218

小型家電巡回回収

ごみは夜出さず、収集日の朝8時までに出してください。ペットボトルのキャップやラベルははずしてください。黄色の警告シールがついた場合、ごみ出しのルールが守られていません。不具合を直し新しい袋かシールをはがした袋で出してください。

町内会	有楽町／阿光坊／本村／新敷／錦ヶ丘／洗平	住吉町／若葉／青葉／緑ヶ丘／鶉久保／木ノ下／豊栄／豊原／向山／苦米地／洋光台／根岸／黒坂／深沢／一川目／二川目	鍋久保／三本木／三田／間木／曙／木内々／染屋／木崎／秋堂／中野平／苗振谷地／向坂／本町地区／くるみ団地／藤ヶ森／いちょう団地／堀切川／川口／明神下／横道／日ヶ久保
燃えるごみ	毎週月・木曜日		毎週火・金曜日
燃えないごみ	8月26日⑤	8月23日④	8月22日⑩
資源ごみ	缶・プラスチック 8月3日④ プラスチック 8月17日④	紙 8月10日④ びん 8月24日④	
粗大ごみ	8月12日⑤・26日⑤ ★有料予約制／1週間前までに申込みが必要です		

祝日も収集します

☎環境保健課 ☎0178⑤64218

ごみカレンダー

有料広告欄



終活写真のススメ

アトリエゆう

いざとなったら、探しても良い写真がない！
何かのときに撮った小さな写真を無理やりに拡大引き伸ばしたけど
表情もいまいちなうエビントのぼやけた仕上がりに・・・。
なんてことが多いようです。
今だからこそある表情や貫禄・想いを納得のいく写真で表現しましょう！

お手軽プラン: ¥9,900 六切り1枚・台紙付
標準プラン: ¥14,800 六切り2枚・アルバム付
メモリアルプラン: ¥19,700 六切り3枚・アルバム付

アトリエゆう
Tel: 0178-52-2525
http://www.atelier-yu.co.jp

青森県東部海区漁業調整委員会委員一般選挙

投票日 8月3日(水) / 投票時間 7時~18時

●投票できる人

この選挙の「選挙人名簿登録申請書」を提出し、選挙人名簿に登録されている人。

●投票区・投票所(対象地域)

①第1区 堀切川地区コミュニティセンター(本町、藤ヶ森、堀切川、川口、明神下、横道、日ヶ久保、根岸、黒坂、洋光台)

②第2区 一川目地区生活会館(二川目、深沢、向平)

③第3区 二川目地区生活会館(二川目)

●期日前投票

投票日に、投票所で投票することができない方は、期日前投票をすることができます。

▼場所 役場分庁舎4階

401会議室

▼日時 7月26日(火)

8月2日(水) 8時30分~18時

●不在者投票

①病院・施設などに入院・入所中の人▼青森県選挙管理委員会が指定する病院や施設等に入院・入所中の人は、施設の長に申し出ると、その施設内で不在者投票をすることができます。各施設へお問い合わせ

●他

②他の市町村に滞在する人▼旅行や仕事の都合により、おいらせ町以外の市町村に滞在する場合は、滞在先の市町村選挙管理委員会に不在者投票をすることができません。この場合、あらかじめ不在者投票の請求書を提出する必要がありますので、町選挙管理委員会へお問い合わせください。

●投票所入場券

有権者に入場券を発行しますので、ご自分の氏名が書かれている部分を切り取り、入場券に記載されている投票所へご持参ください。

なお、入場券が届かない、または紛失したなどの場合も、選挙人名簿に登録されている人は投票することができますので、町選挙管理委員会または各投票所へ申し出てください。

●開票場所・時間

▼場所 役場分庁舎4階

402会議室

▼時間 選挙当日の18時45分

町選挙管理委員会

(役場総務課内)

☎0178(56)2166

浄化槽設置に補助金を交付します

下水道が当面整備されない地区の浄化槽設置に、補助金を交付します。住宅・事業所が対象となり、借家等は対象外となります。

●申請期限 平成28年12月20日(火)まで

【工事着工前に指定の申請書類を提出すること】

●対象者 浄化槽を新たに設置する人、または単独浄化槽から合併浄化槽に切り替える人

●主な交付要件

- ①公共下水道事業認可区域外に設置すること
- ②平成29年2月末日までに事業完了すること
- ③本人および世帯が町税などを滞納していないこと

一般住宅用 区分	限度額
5人槽	529,000円
6人槽~7人槽	662,000円
8人槽以上(上限)	897,000円

事業所用 区分	限度額
5人槽	352,000円
6人槽~7人槽	441,000円
8人槽~10人槽	598,000円
11人槽~15人槽	876,000円
16人槽以上(上限)	1,174,000円



町地域整備課 下水道係 ☎0178(56)4819

農業用使用済みプラスチックを回収します

日時 回収場所 【JA十和田おいらせ】

8月18日(火) 下田支店 北部野菜センター

8月19日(水) ももいし支店 二川目野菜集出荷センター

●受付時間 9時から15時まで 印鑑を持参すること

●助成費 1kgあたり8円を助成します。

●持込方法(ビニール類、苗箱など) これまでと同様です。

- ハウスピニールは必ずひもを外す
- ポリと塩化ビニールを分ける
- 土砂をよく落として乾かす
- 肥料袋やフィルムなどは束にして縛る
- 苗箱は20~30枚ごとに重ねて縛る
- 農業容器は、よく洗い、乾かす

長いもネットの回収も実施します。

■持ち込み時の注意点

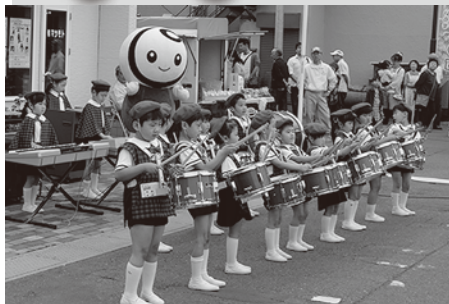
▷縦50cm・横50cm・高さ50cm程度にたたむ、またはロール状にする。▷ツルや葉は落とす。(処分料は1kgあたり45円です。ツルや葉を落とさない場合は、重量分の処分料を負担していただきます)

町 JA十和田おいらせ

ももいし支店☎0178(52)2384 下田支店☎0178(50)0180

町農林水産課☎0178(56)4279

軽トラ市 スタート



今後の開催予定

《開催日》	《時間》
8月7日◎	8時～12時
9月4日◎	《場所》
10月2日◎	百石本町商店街
10月23日◎※	※10月23日のみ、
11月6日◎	9時～13時に
12月4日◎	北公民館前で開催

7月3日、今年第1回となるおいらせ軽トラ市が百石本町商店街で開催されました。軽トラ市は、トラックの荷台を店舗に見立てた産直市で、今回で3年目です。オープニングセレモニーでは、あゆみ保育園と川口保育園の園児らが演奏発表を行い、イベントの始まりを盛り上げました。

また、この日は商店街で恒例となっている「3のつく市日」も同時に行われたほか、会場周辺の店舗では、「100縁笑店街」と題した百円均一のセール販売も行われ、晴天のなか多くの来場客で賑わいました。

軽トラ市は、12月までの毎月第1日曜日に開催予定です。

おいらせ町景観百選・候補地を募集！

町では、四季折々の景色や、歴史的・文化的風景などの景観67箇所を「おいらせ町景観百選」として認定しています。このたび、この百選の追加・見直しを行うため、おいらせ町の「とっておきの景観」を募集します。

◎募集期間 平成29年8月31日◎まで(13か月間随時受付)

◎対象となる景観

町内の自然、建造物、歴史を感じさせるもの、街並み、伝統芸能、イベント時の風景など

※身近な景観も対象となります。

※再現性の低い、瞬間的な景観は対象外とします。

◎応募方法

応募用紙に必要事項を記入し、景観写真を添付して郵送、FAX、持参または電子メールによりご応募ください。

※応募用紙は企画財政課(本庁舎)、分庁サービス課(分庁舎)、北公民館に備え付けているほか、町ホームページからもダウンロードできます。

※どこからどこを見た景観かが具体的に記入されていれば、写真がなくても応募できます。

※一人何点でも応募可能です。

◎景品

採用者の中から抽選で景品をプレゼントいたします。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

《注意》景観百選は写真コンテストではありませんので、写真技術の良し悪しで選別されることはありません。写真は携帯電話で撮影されたものでも構いません。

「おいらせ町景観百選選定委員会」 選定委員を募集します

町では、「おいらせ町景観百選」の見直しを行うにあたり、町民の皆さんの意見を反映するため、選定委員を公募します。

◎応募資格

満18歳以上の町民で、景観に興味、関心があり、会議場所(役場本庁舎)まで自分で移動し参加できる方。(町税などの滞納者を除く)

◎募集人員 1人

◎任期 委嘱の日から平成30年3月31日まで

◎会議 計5回程度(日中に開催)

◎報酬 日額5,300円(交通費別途支給)

◎応募方法

応募用紙に必要事項を記入し、持参、郵送、FAXまたは電子メールにてご応募ください。

※応募用紙は、企画財政課(本庁舎)、分庁サービス課(分庁舎)、北公民館に備え付けているほか、町ホームページからもダウンロードできます。

◎応募締切 8月31日◎ ※当日消印有効

◎選考方法

応募用紙により審査選考し、結果は文書で通知します。

問(応募先) 企画財政課

☎0178 564273 / Mail: furusato@town.oirase.aomori.jp

※応募の際に得た個人情報については、本事業以外の目的には使用いたしません。

平成28年度おいらせ町平和祈念祭

町民多数の皆様のご参加をいただき、献花くださるようお願いいたします。

【日時】 8月10日(水) 午前10時半～正午

【場所】 町民交流センター・小ホール

- ◎町民はもとより、どなたでも参加可能です。
- ◎服装は平服（略礼装）でお願いします。
- ◎ご来場いただいた方には、祈念品を差し上げます。

※なお、個別案内につきましては、例年遺族の方の特定が困難で、誤解やトラブルの元になることなどに鑑み、今年度から、ご来賓および町遺族会会員の皆様以外の方への通知を控えさせていただくことにいたしましたので、何卒ご了承ください。



☎ 町民課 0178-56-2246

個人番号カード（マイナンバーカード）を申請している方へ

個人番号カードは通知カードとは違って、郵送ではなく、役場本庁舎町民課窓口でお受け取りいただくことになります。「交付通知書」が届き次第、受け取り日時を予約ください。

受け取りは、本人が来庁しなければなりません（15歳未満の方または成年被後見人の場合も法定代理人とともに本人が来庁する必要があります）。代理人が受け取れるのは、病気や身体の障がい等のやむを得ない理由により本人が来庁できない場合に限られます。また、日中お仕事などで来庁が困難な方のために、夜間窓口も開設します。

- 交付場所** 町民課（役場本庁舎） ※分庁舎ではお受け取りできません。
 - 交付時間** ①日中：9時から17時まで（土・日・祝日は除く）
②夜間：月～木曜日の17時から18時45分まで（15分きざみで受付）※
※希望日の2日前までに予約ください。
 - 持ちもの** 届いてある「交付通知書」をご覧ください。
- ☎・電話予約 町民課 ☎ 0178 56 2246

受取は予約制です！



下田公園「^{ふるさと}縄文の森イベント広場」利用の仕方

下田公園内「縄文の森イベント広場」はどなたでも利用できます。行事などで活用してみませんか？

- ◎**申請方法** 利用日の10日前までに、「いちょう公園体育館」または「農村環境改善センター」へ所定の申請書に必要事項をご記入のうえお申し込みください。申請書は町ホームページよりダウンロードできます。
- ◎**利用期間** 通年で利用可能（大屋根ゲートボール場とステージは4月1日から11月31日までです）
- ◎**利用時間** 平日・土曜日：9時～21時 / 日曜日・祝日：9時～17時
- ◎**利用料**（1時間あたり）

区分	町内・一般	町外・一般	町内・興業	町外・興業
大屋根ゲートボール場	400円	600円	600円	1,000円
ステージ・放送器具	200円	300円	300円	500円
大屋根照明	500円	750円	750円	750円

※学校や社会教育団体などの公共的団体は無料です。詳しくはお問い合わせください。

☆利用上のルール☆

施設、設備または器具などを損傷・汚損する行為、所定の場所以外での飲食・喫煙・火器の使用はご遠慮願います。また、風が強いときには暴風ネットを利用できます。



☎ いちょう公園体育館 ☎0178 526744 / FAX0178 528450
農村環境改善センター ☎0178 565255 / FAX0178 565257


おいらせの学びカレッジ 一般講座が開講しました

第3講座
9/26 (月) 「北の炎」
蝦夷(古代東北の民)について語る

作家
高橋 克彦氏
たかはし かつひこ

おいらせ町みなくる館 19:00～

受講料 無料




第2講座
8/26 (金) 「里山を楽しむ」
おいらせ町の権生から

がんじゃ里山の会会長
関下 斉氏
せきした ひとし

おいらせ町みなくる館 19:00～

受講料 無料



第4講座 併催/下田朝野球協会創立30周年記念
11/12 (土) 「3度のクビから現役27年」

スポーツコメンテーター(元プロ野球選手)
山崎 武司氏
やまさき たけし

おいらせ町民交流センター 14:30～

受講料 無料



第5講座 併催/人権啓発講演会
11/24 (木) 「日本人に対する最大の人権侵害問題とは」

—すべての拉致被害者を救出するために—
東京基督教大学教授
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会会長
西岡 力氏
にしおか つとむ

おいらせ町民交流センター 18:30～

受講料 無料




第6講座(閉講式) いきいき健活ポイント対象講座
12/7 (水) 「素敵な出会いのために」

あおもりのちの電話理事長
石川 徹一氏
いしかわ しょういち

おいらせ町民交流センター 18:50～

受講料 無料



▶集まった聴衆に語りかける金田一氏。



おいらせの学びカレッジ「一般講座」は、昨年まで実施していた「ふるさと学習塾」に代わる生涯学習講座で、スポーツや健康、歴史など各分野で活躍する講師から講話を聞くことで知識を深める講座です。

6月29日、みなくる館で開催された第1回講座では、杏林大学外国語学部教授で国語学者の金田一秀穂氏を講師に迎え、「世界一受けたい日本語授業」と題して講演しました。金田一氏は「言葉は時代によって変化するもの、これが正しい日本語とは一概に言えない」と笑いを交えて持論を語りました。

《 おいらせ百石まつり 》

カワヨ駐車場以外の場所へ 出店される方へお知らせ

祭り期間中(9月16日～19日)のカワヨ駐車場への出店は、おいらせ町観光協会において管理・届け出をしております。カワヨ駐車場以外の場所に出店し、ガスコンロや発電機などの火気器具を使用する場合は、消防署への届け出が必要です。

- 届出書は、催しの2日前までに提出しなければなりません。
- 届出要旨は最寄りの消防署でもらうか、八戸広域消防ホームページよりダウンロードできます。

適正な手続きのもとで出店ください。

☎ おいらせ消防署 ☎0178 562525
八戸消防本部 予防課 ☎0178 442133

前夜祭・山車夜間展示は 国道45号で開催します

今年度の「おいらせ百石まつり」前夜祭は、従来から会場を変更し、国道45号において山車夜間展示とまつりばやし共演会を開催します。

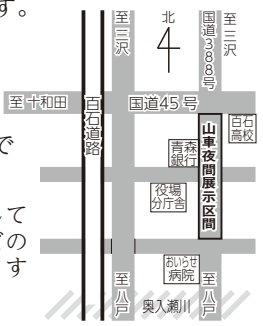
◎開催日時 9月16日(金)
18時45分開始

◎開催場所 右記のとおり

◎規制時間 17時から21時まで
(一時解除あり)

※付近の住民の皆様におかれましては、交通規制および祭囃子などの大きな音でご迷惑をおかけしますが、何卒ご了承ください。

☎ 町観光協会(商工観光課内)
☎0178 564703



第31回いちようマラソン大会

6月26日、いちよう公園周辺において、「第31回おいらせ町いちようマラソン大会」を開催しました。全国各地から788人のランナーが参加し、自由の女神像や田園風景を望める景色のなかを走り抜けました。



▶K区分・3km中学生男子の部を1位でゴールした、川口翔大選手。



大会記録	
A 10km 高校・一般男子 39歳以下	1位 桜井 直樹 (六ヶ所村) 2位 西舘 直貴 (岩手県) 3位 阿部 悠真 (おいらせ町)
B 10km 一般男子 40歳～49歳	1位 市沢 広俊 (宮城県) 2位 熊谷 治人 (野辺地町) 3位 丸岡 晃 (三沢市)
C 10km 一般男子 50歳～59歳	1位 稲村 輝男 (階上町) 2位 鶴ヶ崎 春彦 (八戸市) 3位 加藤 一郎 (千葉県)
D 10km 一般男子 60歳以上	1位 佐々木 和男 (八戸市) 2位 風張 清志 (八戸市) 3位 赤石 満男 (おいらせ町)
E 10km 高校・一般女子 39歳以下	1位 杉澤 多佳子 (八戸市) 2位 廣田 清香 (八戸市) 3位 横沢 杏奈 (八戸市)
F 10km 一般女子 40歳以上	1位 長谷川 雅子 (青森市) 2位 戸田 智子 (八戸市) 3位 高山 環奈 (おいらせ町)
G 5km 高校・一般男子 39歳以下	1位 村越 洸 (階上町) 2位 金子 龍一 (十和田市) 3位 五十嵐 斐郷 (青森市)
H 5km 一般男子 40歳～49歳	1位 里村 喜美夫 (十和田市) 2位 和田 智 (八戸市) 3位 田村 貴弘 (八戸市)
I 5km 一般男子 50歳以上	1位 原子 明 (六戸町) 2位 上野 健司 (八戸市) 3位 田中 昌宏 (八戸市)
J 5km 高校・一般女子	1位 福田 由香人 (南部町) 2位 川村 美学 (南部町) 3位 鈴木 春菜 (おいらせ町)
K 3km 中学生男子	1位 川口 翔大 (おいらせ町) 2位 山本 一颯 (おいらせ町) 3位 畑中 大力 (むつ市)
L 3km 中学生女子	1位 堀内 望玖 (青森市) 2位 高山 愛子 (おいらせ町) 3位 鈴木 遥菜 (三沢市)
M 3km 小学生男子 5・6年生	1位 宮下 和丸 (青森市) 2位 欠端 陽翔 (岩手県) 3位 安藤 廉晟 (おいらせ町)
N 3km 小学生男子 3・4年生	1位 畑中 士道 (むつ市) 2位 高橋 陽彩 (東北町) 3位 須藤 魁 (平内町)
O 3km 小学生男子 1・2年生	1位 里村 斗望 (十和田市) 2位 鳥谷部 叶夢 (東北町) 3位 亀田 春輝 (野辺地町)
P 3km 小学生女子 5・6年生	1位 荒川 ゆう (八戸市) 2位 齋藤 楓乃 (八戸市) 3位 菊池 瑞希 (岩手県)
Q 3km 小学生女子 3・4年生	1位 小田島 舞凜 (十和田市) 2位 荒川 さい (八戸市) 3位 木村ア昌祐功 (おいらせ町)
R 3km 小学生女子 1・2年生	1位 夏井 日菜子 (岩手県) 2位 熊谷 優羽 (野辺地町) 3位 山本 みなみ (おいらせ町)

町民少林寺拳法健康教室 参加者を募集



健活ポイント
対象事業

健康長寿・県一を目指して、体のゆがみをとる整体法をわかりやすく楽しく指導します。

○開催日 (計4回シリーズ)
9月3日⑤、10日⑤、17日⑤、24日⑤ すべて18時30分受付

○開催場所 農村環境改善センター

○参加料 無料

○申込締切 8月31日⑤

○講師 北向勉7段、植野豊6段
園(主催・申込先)

町少林寺拳法協会 北向

☎0178-563911

町テニス大会 参加者を募集

参加資格 町民または町内勤務者

○開催日 9月4日⑤
8時45分受付終了、9時試合開始
※予備日9月11日⑤

○開催場所 いちよう公園テニスコート

○参加料 千円

○申込締切 8月19日⑤ 17時まで

○種目 ダブルス区別なし(一人での申込みも可)

○試合 6ゲームマッチ・リーグ戦
・トーナメント戦

○定員 先着32人

園(申込先)

町テニス協会事務局 中川

☎0176-571563

祝 全国大会出場

おつかれさまでした

ソフトテニス 百石小学校5年

おおにし まかは
大西 真可瑛さん

第33回全日本小学生

ソフトテニス選手権大会出場

情報

インフォメーション

各種施策・行事案内

催し

馬淵川浄化センター 見学会

毎年9月10日は「下水道の日」です。馬淵川浄化センターではその一環として、広く下水道への関心と理解を深めていただくため、施設の見学会を開催します。来場者には記念品を進呈します。

○日時 9月10日(土)～11日(日)
両日とも9時～16時

○場所 馬淵川浄化センター
(八戸市河原木字蓮沼1-21)

○内容 処理施設見学、微生物観察コーナー、汚泥リサイクルコーナー、DVD上映、パネル展示

○馬淵川流域下水道指定管理者(公財)青森県建設技術センター 馬淵川事務所
☎0178(29)1652

県立百石高校 同窓会総会

○日時 8月6日(土)
18時半～

○場所 月見旅館
○会費 4千円

※ただし、平成26・27年度卒業生は千円、平成28年度卒業生は無料です。

○申込方法 8月4日(金)までに事務局へ氏名・卒業年に連絡先をお知らせください。

○(申込先)青森県立百石高校同窓会事務局
☎0178(52)2088
FAX0178(52)8315

海上自衛隊 八戸航空基地祭

○日時 9月4日(日)
8時30分～15時30分

海上自衛隊第2航空群司令部広報室

☎0178(28)3011

○場所 海上自衛隊八戸基地
○内容 航空機地上展示、航空機飛行展示、海上自衛隊大湊音楽隊演奏会、ほか

ナニヤドヤラ廻道 ふるさとフェスタ 2016

○日時 8月20日(土)・21日(日)
10時～16時

○場所 ユートリー・八戸駅前広場

○入場料 無料
○内容 南部の食コーナー、特産品の販売、芸能発表、音楽会、など

○(申込先)まちづくり推進協議会
☎0178(43)5111

もりのなつふえす♪ 家族で森遊びを楽しもう♪

木の砂場、木にかかったブランコ、ハンモック、野外での紙芝居や、親子フォークダンスなど、森遊びを家族で楽しもう！ ロケーションフォト、木工、ヨガ、草木染など、親子で楽しめる有料のワークショップ出展もあります。

○日時 8月27日(土)
10時～15時(親子フォークダンスは10時～10時半)

○場所 カワヨグリーン牧場・牧野館周辺

○料金 無料
※詳細はアグリのリおいらせおよびカワヨグリーン牧場にあるチラシをご覧ください。

○(申込先)おいらせもりのようちえん 外井
☎0800-600999-3704

道路に張り出た 樹木の伐採を お願いします

樹木や庭木が道路に張り出していると、通行の支障となり、さらに倒木や落枝などで交通障害を引き起こす場合があります。

私有地から張り出した樹木の剪定や伐採を町で行うことはできません。事故予防のため、所有者は適切な管理をお願いいたします。

○地域整備課
☎0178(56)4702



北部出張所でも 各種証明書を 発行しています

- 住民票、町名変更の証明書
- 戸籍謄本、戸籍の附票
- 印鑑証明書
※印鑑登録・廃止・再発行の手続きはできません
- 所得証明書・課税所得証明書
- 評価証明書など
資産に関する証明書
- 納税証明書(車検用含む)
- 粗大ごみ処理券
- 健診無料券など

北部出張所(北公民館内)



※住所変更、戸籍届出、保険証交付などは取り扱いできません。

※運転免許証、保険証など本人確認ができる公的書類を持参ください。手続きによっては説明や追加書類が必要になります。

○北部出張所 ☎0176(50)1208
青葉二丁目50番地1395

募 集

町民体力テスト

参加者募集

町では、スポーツ庁が実施している新体力テストの一環として、また、町民の皆さんの体力や健康づくりに対する関心が高まることを目的に町民体力テストを実施します。この機会に、ぜひ今の自分の体力・運動能力を確認してみませんか。

○募集対象者 おいらせ町内に在住または勤務する20歳以上の人（平成8年4月1日までに生まれた人）

○日時 10月14日（金）

14時～16時

○会場 町民交流センター

アリーナ

○申込締切 8月31日（水）

○テスト項目

①共通：握力測定、上体起こし、長座体前屈

②20歳～64歳：反復横跳び、立ち幅跳び、急歩

③65歳以上：開眼片足立ち、10m障害物歩行、6分間歩行

○注意事項 ▼運動できる服装で、上履きを持参してく

ださい▼この事業は「いきいき健活ポイント」対象です。

☎0178 56 4276

☎0178 56 4276



海上保安大学校

学生募集

○受付期間

①インターネット

8月25日（水）～9月5日（月）

②郵送・持参

8月25日（水）～29日（月）

○第一次試験 10月29日（土）

30日（日）

○入校 平成29年4月

☎0178 53 1222

消防職員採用試験

平成28年度消防職員採用試験を行います。

○採用予定人員 初級（短大・高校卒）11人程度、中級（大卒）6人程度

○試験日 9月18日（日）

○受験申込期間 8月8日（日）から22日（日）まで
※受験資格など詳細についてはお問い合わせください。

☎0178 44 2132

航空自衛隊三沢基地 自衛隊航空機 体験搭乗者を募集

航空自衛隊中型輸送機C-1の体験搭乗者を募集します。搭乗時間は15分程度です。

○日時 10月8日（土）

○場所 航空自衛隊三沢基地

○対象 小学生以上の健康な青森県にお住いの人（小学生は保護者の同乗が必要）

○募集人数 140人

○応募方法 往復はがきをご用意し、往信面（通信面）に住所、搭乗希望者全員（4人まで）の氏名とフリガナ、年齢、職業、電話番号を記入し、返信面（宛名面）に搭乗希望者の代表者住所、搭乗希望者全員の氏名を記入し、裏面は白紙で郵送ください。

○申込締切 9月2日（金）必着

☎033・8604 三沢市後久保125・7）

☎0176 53 4121

大山名人杯争奪将棋 大会参加者を募集

○日時 8月21日（日）

○受付時間 8時半～9時20分

○場所 みなくる館

○クラス 有段A、有段B、無段、小学生、小学生新人の5クラス

○参加費 一般二千円、高校生以下千五百円、小学生五百円

※参加者には昼食弁当と参加賞が付きます。

○申込締切 8月17日（水）

☎0178 56 4276

排水設備工事 責任技術者試験

○日時 10月19日（水） 14時～

○受付 13時半～13時55分

○試験会場 八戸市、青森市、弘前市、五所川原市のいずれかで実施

○受験料 8千円（振込手数料を除く）

○申込書配布・受付期間 8月15日（月）～31日（水）（土日祝日を除く）

○申込書配布・受付場所 地域整備課

※申込書に必要事項を記入し、所定の書類を添えて提出してください。

○合格発表 11月10日（水）9時

☎017・761・4838

☎0178 56 4819

地域整備課

消費生活情報

ブラインドひもの事故に
注意してください！

消費者庁によると、ブラインドやスクリーンのひもが子どもの首に絡まる事故が報告されているそうです。窒息や酸素欠乏による神経障害が起こる恐れがありますので、安全性の高い製品を選びましょう。ひもがある製品を使用している場合は、クリップなどでひも部分をまとめるようにしましょう。

テレビショッピングは

契約条件を確認しましょう

国民生活センターによると、テレビショッピングで購入した商品を開封後に返品しようとしたら、受け付けてもらえなかったという相談が寄せられているそうです。通信販売はクーリングオフ制度がありませんので、返品条件や使い方をよく確認してから注文しましょう。

お知らせ

家屋全棟調査を行っていただきます

町では適正な課税を行うため、民間委託により家屋の現況調査を行っています。

今年度は、課税台帳と現況が一致しない家屋、課税台帳に記載されていない家屋について、外観調査により大きさや構造を確認しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

原則、直接伺って敷地内に立ち入ることはありません。道路から見える範囲での調査となります。写真撮影等を行うことがありますのでご了承ください。

○調査期間 平成28年6月25日～平成29年3月25日

○委託先 株式会社みちのく鑑定事務所
※調査員は、町発行の調査員証を携帯しています。

※内部の調査が必要な場合には、税務課担当からご連絡いたします。

固 税務課

☎0178 56 4704

児童扶養手当現況届 ・特別児童扶養手当 所得状況届の受付

児童扶養手当現況届と特別児童扶養手当所得状況届の受け付けを行います。

詳しくは、受給対象者に郵送で通知しますので、受け取られましたら必ず来庁し、手続きを済ませてください。

なお、この届出書の提出が無いと手当を受けられなくなりますので、ご注意ください。

○受付期間
① 児童扶養手当 8月3日
② 特別児童扶養手当 8月12日(金)～9月9日(金)

※土日祝日の受付はできませんが、お盆期間は受け付けします。

○受付時間 8時15分から17時まで

○受付場所 町民課子育て支援室(本庁舎1階)
固 町民課子育て支援室
☎0178 56 4259

街灯LED化工事が 始まります

省電力、地球温暖化対策のため、8月下旬から12月末に

かけて町内の街路灯、防犯灯をLED灯に交換する工事を行います。ご理解とご協力をお願いいたします。

● 工事はエリアごとに順に着手します。

● 作業中は一時的に交通規制を行うことがあります。

● 通電確認のために日中でも点灯させることがあります。

● 安全でスムーズな作業となるよう土地管理者の方は街灯周辺の雑草の除去や立木の枝払いをお願いします。

固 まちづくり防災課
☎0178 56 2131

敬老会の開催方針

町では、75歳以上の町民の方々を対象に、町主催の敬老会を開催してきましたが、地域内の高齢者と各世代の方々との交流を目的に、平成22年度から各地区または各町内会主催による敬老会事業を試行してきました。そして、現在多くの地区、町内会が敬老会を実施しており、昨年度は敬老会に参加した高齢者全体の9割近くを占めるまでに増えてきております。このため、今年度から町主催の敬老会は

開催せず、各地区・町内会主催の敬老会の開催だけとすることになりました。

各地区、町内会の敬老会の開催時期は各地区、町内会によって異なりますので、詳しい内容については、お住まいの町内会の事務局か介護福祉課までお問い合わせください。

固 介護福祉課
☎0178 56 4705

平成28年度自衛官募集案内

募集種目	応募資格	試験期日	試験会場
航空学生	高校を卒業された(見込含む)21歳未満の方	9月22日(木)	三沢市総合社会福祉センター
一般曹候補生	18歳以上 27歳未満の方	9月17日(土)	三沢市総合社会福祉センター
自衛官候補生(任期制)	18歳以上 27歳未満の方	9月26日(日) ※	陸自八戸駐屯地 ※

※応募資格は平成28年4月1日を基準といたします。

※自衛官候補生(任期制)の男性は通年募集しており、試験期日および試験会場等については別途案内いたします。

● 受付期間 平成28年7月1日(金)～9月8日(木)

※自衛官候補生(任期制)の男性は通年募集しております。

固 自衛隊青森地方協力本部 三沢募集案内所

☎0176 531346 (FAX兼)

〒033-0037 三沢市松園町三丁目6-16 中野プラザビル2階



8月の相談窓口

 日中お仕事などで、税金・保険料の納付や相談が困難なとき

・納税相談 ☎ 税務課 ☎ 0178 ⑤⑥ 4704

時間内であれば税金・保険料を納めることもできます。
お気軽にご利用・ご相談ください。

① 夜間納税相談……17時～20時

場 本庁舎 2日火、16日火、30日火
場 分庁舎 9日火、23日火

② 休日納税相談……8時半～17時

場 本庁舎 7日③

8月31日④は町・県民税第2期、国民健康保険税第2期、介護保険料第2期、後期高齢者医療保険料第2期の納付期限です。また、税金および保険料の8月1日⑤納期限の督促状発送日は8月19日⑥です。

※納め忘れの防止、手間のかからない口座振替が便利です！

※高齢者や障がい者など、体が不自由な人で、どうしても金融機関や役場窓口で税金を納められない人へは自宅へ訪問します。

♥ 日常の困りごとなど

・町民相談 10日⑦ 10時～15時

場 東公民館
☎ 総務課 ☎ 0178 ⑤⑥ 2166
相談員 小向 恵子

・行政相談 26日⑧ 10時～12時

場 東公民館
☎ 総務課 ☎ 0178 ⑤⑥ 2166
相談員 中村 廣美 (☎ 0178 ⑤② 3848)

・心配ごと相談 3日⑨ 10時～12時

場 いきいき館
☎ ☎ 0178 ⑤② 7066

借金・離婚や相続・不動産の問題など

・無料法律相談 31日⑩ 13時半～16時

場 いきいき館
☎ 社会福祉協議会 ☎ 0178 ⑤② 7066
※要事前予約、8月8日から受付開始。



平成28年熊本地震災害義援金受付延長

日本赤十字社では、熊本地震で被災された方々を支援する義援金の受付を延長します。義援金の寄附の支払は下記のとおりです。

○義援金名 「平成28年熊本地震災害義援金」

○受付期間 平成28年4月15日⑪～平成29年3月31日⑫

○寄付の方法

① 直接持参する

役場本庁舎と分庁舎に募金箱を設置しています。

※12月28日までの8時15分から17時まで受付中です。

② 郵便振替

口座加入者名「日赤平成28年熊本地震災害義援金」

口座番号「00130-4-265072」

※受領書の発行を希望する場合、通信欄に「受領書希望」と明記してください。ゆうちょ銀行窓口での取扱いは手数料免除です。

③ 銀行振込

【振込先1】青森銀行新町支店 普通預金16000

振込先名義「日本赤十字社青森県支部 支部長 三村 申吾」

【振込先2】みちのく銀行青森支店 普通預金4200888

振込先名義「日本赤十字社青森県支部 支部長 三村 申吾」

※送金手数料は免除です。各銀行には、義援金専用振込用紙が設置してあります。他の義援金と区別するため義援金名義を記入してください。ATMの場合は、氏名の後に義援金名を入力してください。(ATMは手数料がかかります)

☎ 介護福祉課 ☎ 0178 ⑤⑥ 4705

まちづくり活動を支援します

おいらせ町まちづくり推進委員会は、下記のとおりまちづくり活動を支援しています。

① まちづくり団体支援

○対象者 まちづくりのための新規イベントなどを実施する町内団体（他の補助などを受けていないこと）

○助成率 総事業費の50%、限度額1件10万円

○過去の実績 演劇によるまちづくりを実施する団体との交流事業、ライブコンサートによるまちづくり事業、子育て支援団体のイベント事業、など

② 人材育成研修支援

○対象者 町民または町内に勤務する人で、目的が明確な研修計画があり、原則としておおむね20歳以上の人（保護者同伴の場合は小学4年生以上の児童・生徒も可能）団体の場合は5人以上とする。

○対象内容

①まちづくり、地域活性化のための自主的な研修。ただし、語学留学、同団体・同一人物の同内容の研修および娯楽性の高い鑑賞のみのものを除く。

②他団体（公的機関に限る）主催の研修

○助成対象費用 交通費および宿泊費

○助成率 ①の場合は対象経費の80%（上限10万円）、②の場合は対象経費の50%（上限3万円）

☎ まちづくり防災課 ☎ 0178 ⑤⑥ 2131

健康長寿
青森県一を
目指します



健康長寿 おいらせ町

モールウォーキングで楽しく健康づくり

町は、7月12日、今年2回目のモールウォーキングを開催しました。

このウォーキング講座は、スポーツオーソリティ下田店と共催で実施しているもので、この日は22人の参加者が集まり、スポーツオーソリティの佐藤トレーナーの指導のもと、モール内を楽しく歩きました。

後半には、短命県返上を掲げる三村申吾知事も駆けつけ、参加者と一緒にモールウォーキングを楽しみました。



▶ウォーキングに参加する三村知事

8月の モールウォーキング



健活ポイント
対象事業

○日時 8月9日(土) 10時～11時

※毎月第2火曜日に実施

○集合場所 スポーツオーソリティ

下田店前



▲涼しいモール内をウォーキングする参加者たち

※雨天・荒天時は店内コンディショニングスペース前に集合。

○講師 スポーツオーソリティ下田店
トレーナー 佐藤洗汰氏

○留意事項 ▼申込不要です▼動きやすい服装・靴でお越しください▼荷物は身に着けられる程度にしてください▼飲み物はお自分でご用意ください▼体調に不安のある時は無理をしないでください▼健活ポイントカードを持参ください。

環境保健課 健康長寿推進室

☎0178-564551

有料広告欄

縫製スタッフ、裁断スタッフ、まとめ内職 募集のお知らせ

国内No.1ブランドの女性向けブラックフォーマルウェアを製造しています。
いずれの仕事も、未経験者歓迎です。イチから指導します。

■縫製スタッフ(正社員)

ミシン、アイロンを使ってのジャケット、ワンピース、ブラウスの縫製

■裁断スタッフ(正社員)

専用の機械を使っての生地、芯地の貼り合わせ、パーツの整理など

■まとめ(内職:自宅でする仕事です)

ボタン付けなどの針仕事です。毎日、配達・回収します。(ノルマはありません)

●工場からクルマで片道30分程度の地域の方

●1日に4時間くらいの時間を作る方

★詳細は、お気軽にお問い合わせください。(株)トップレディ青森工場 おいらせ町上久保62-127
連絡先 TEL 0178-56-3484 縫製スタッフ、裁断スタッフ→担当:吉田 /まとめ内職→担当:山本



8 ♪ おいらせ健康カレンダー ♪

日・曜	行事名	時間 ※は受付	場 所	備 考
平日毎週火曜	リハビリ相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士による運動指導。
平日毎週金曜	リハビリ相談	9:30-11:00	いきいき館	看護師による健康相談。

日・曜	行事名	時間 ※は受付	場 所	備 考
1 月	町民健診 (集団・複合健診)	※ 7:00-9:00	北公民館	基本 (特定) 健診、胃・大腸・肺・前立腺がん検診
2 火	貯筋道場	9:15-11:00	交流センター	見学申込みは地域包括支援センターまで
3 水	北地区介護予防教室	9:30-12:00	北公民館	
	2～3か月児健康相談	※ 10:00-10:20	老人福祉センター	※対象：平成28年5月生まれ
4 木	南地区介護予防教室	9:30-12:00	老人福祉センター	
	百石地区介護予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士による運動指導
5 金	百石地区介護予防教室	9:30-12:00	いきいき館	
6 土				
7 日				
8 月	南地区介護予防教室	9:30-12:00	老人福祉センター	
	町民健診 (集団・複合健診)	※ 7:00-9:00	交流センター	基本 (特定) 健診、胃・大腸・肺・前立腺がん検診
9 火	貯筋道場	9:15-11:00	交流センター	見学申込みは地域包括支援センターまで
	町民健診 (集団・複合健診)	※ 7:00-9:00	交流センター	基本 (特定) 健診、胃・大腸・肺・前立腺がん検診
10 水	町民健診 (集団・複合健診)	※ 7:00-9:00	北公民館	基本 (特定) 健診、胃・大腸・肺・前立腺がん検診
17 水	北地区介護予防教室	9:30-12:00	北公民館	
18 木	百石地区介護予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士による運動指導
19 金				
20 土				
21 日	愛の献血	10:00-12:00 13:15-16:30	イオンモール下田	受付場所：ボウリング場入り口
	いきいき健康まつり	9:00-15:00	いきいき館周辺	詳しくは折込みチラシをご覧ください
22 月				
23 火	貯筋道場	9:15-11:00	交流センター	見学申込みは地域包括支援センターまで
24 水	北地区介護予防教室	9:30-12:00	北公民館	健康運動指導士による運動指導
	百石地区介護予防教室	9:30-12:00	のびのび館	
25 木	南地区介護予防教室	9:30-12:00	老人福祉センター	理学療法士による運動指導
	3歳児健康診査	※ 12:30-12:45	老人福祉センター	対象：平成25年2月生まれ
27 土				
28 日				
29 月				
30 火	貯筋道場	9:15-11:00	交流センター	見学申込みは地域包括支援センターまで
	1歳6か月児健康診査	※ 12:30-12:45	老人福祉センター	※対象：平成27年1月生まれ
31 水	5～6か月児健康相談	※ 10:00-10:20 10:40-11:00	老人福祉センター	※対象：平成28年2月～3月生まれ
	お父さんのための離乳食づくり教室	※ 9:30-9:45	老人福祉センター	5～6か月児健康相談と同日開催

※このカレンダーに記載されている行事は、すべて健活ポイント対象事業です。

8月から町民健診がスタート！～申し込み忘れはありませんか？～

申し込みは環境保健課 健康長寿推進室まで！ ☎0178-664551



三田保育園
☎0178(66)2008
菜の花保育園
☎0176(63)8670
あゆみ保育園
☎0178(62)2206

子育て支援センターによる下記行事は、子育て家庭の親子ならば、どなたでも参加できます。興味のある方はお問い合わせください。

	日時	行事内容
三田保育園	6日⊕ 17:30~	三田保育園 夕涼み会
	9日⊕ 10:30~12:00	アフタービクスサークル
	10日⊕ 10:00~11:30	よちよちひろば
	18日⊕ 10:00~10:45	ベビーリトミックサークル
	19日⊕ 10:00~11:30	スラップブッキングクラブ ちよき・ぺた
	23日⊕ 10:00~11:30	ハッピーキッズ(ハーフバースディ・1歳バースディカード制作)
	24日⊕ 10:00~12:00	ほっとカフェ
	25日⊕ 10:00~12:00	親子クラブ、給食試食会
	26日⊕ 10:00~12:00	体験保育(0・1・2歳クラス)
	29日⊕ 10:00~12:00	すこやかDAY(成長記録・身体計測)
31日⊕ 10:00~12:00	ハンドメイドクラブ	
★詳しい内容は「たんぽぽつうしん」をご覧ください		
菜の花保育園	4日⊕ 10:00~11:30	アンパンマンサークル「アルバム作り」
	5日⊕ 10:00~11:10	フラダンスサークル
	9日⊕ 10:00~11:30	リラックマサークル「自由遊び、おしゃべりタイムなど」
	18日⊕ 10:00~11:30	フラワーサークル「ストラップ作り」
	19日⊕ 10:00~11:30	わくわくサークル「バイキンマンのハウス作り」
	20日⊕ 9:30~10:00	保育体験、離乳食教室
	20日⊕ 10:00~11:30	クックサークル「さつまいものおやつ作り」
	20日⊕ 13:00~14:10	フラダンスサークル
	22日⊕ 10:00~13:00	サマースマイルママ
	23日⊕ 10:30~11:30	さかなつり【みらい館サークル】
24日⊕ 9:30~10:00	保育体験	
24日⊕ 10:00~11:30	すくすくルーム「ふれあい遊び」	
26日⊕ 10:30~11:30	小物作り【るるんサークル木ノ下児童館】	
30日⊕ 10:00~11:30	リラックマサークル「自由遊び、おしゃべりタイムなど」	
★詳しい内容は「わくわくつうしん」をご覧ください		
あゆみ保育園	2日火 13:30~14:30	マタニティほんわかルーム(ミセスビードル音楽会)
	4日木 9:55~11:30	ファミリーサロン
	5日金 9:55~11:50	おしゃべりサロン(成長記録)
	9日火 9:55~11:50	きれいなママ(開運メイク)
	17日水 9:55~11:50	はんど&はあと(オリジナル黒板を作ろう)【和花】
	19日金 13:30~14:30	マタニティほんわかルーム(眠りに導くポイント6)
	23日火 9:55~12:30	親子でお料理(カラフルいなり、白玉フルーツポンチ)【いきいき館】
	25日木 9:55~11:50	おいらせクロパ(スラップブッキング)
26日金 9:55~11:30	英語で遊ぼう【ガーデンプレイス】	
29日月 9:55~11:50	親子でルンルンたのしいダンス【東公民館】	
★詳しい内容は「きらら通信」をご覧ください。		

【 】は園外開催場所です。やむをえず予定を変更する場合がありますのでご了承ください。

おいらせ

食育+子育て しょくいくぶらす こそだてコラム

～暑さ対策万全ですか？～

夏本番となり、レジャーやイベントにお出かけする機会も多いことでしょう。関東地方では、猛暑日が続いたりすると、熱中症で倒れるなどの報道をよく聞きます。東北地方で猛暑日がつづくことはまれですが、やはり熱中症や日射病などに注意が必要です。

【対策①】 暑くてたくさん汗をかくので、飲み物を携帯して脱水症、熱中症を予防しましょう。ただし、暑いからと、冷たいものを一気に飲むことはせず、こまめに少しずつ飲みましょう。糖分の多いジュースや炭酸飲料などは、血糖値が急上昇し体が余計に水分を欲するなど逆効果となる場合があります。ミネラルの豊富な麦茶やミネラルウォーターなどを用意しましょう。

※スポーツなどで激しく動き、長時間汗を大量にかく場合は、イオン飲料を勧めることもあります。レジャーや公園などで遊ぶ程度であれば水分補給代わりにするのはお勧めしません。

【対策②】 日差しのもとに長時間いると危険です。帽子をかぶり、適宜休憩をとりましょう。日陰を作るための日傘なども便利です。

【対策③】 赤ちゃん(乳児)にも、散歩した後や汗をかいている場合には、白湯などを飲ませてあげるとよいでしょう。屋内にいても気温が高い場合は、クーラー等を上手に使い過ぎしやすい環境にしてあげましょう。

おいらせ町地域子育て支援センター

おたのしみ広場

8月22日(月) 11時～

- 場所 東京インテリア1階・キッズコーナー
- 内容 えほん、手遊び、ふれあい遊びなど(主催) 三田保育園、菜の花保育園、あゆみ保育園



国民年金情報

国民年金保険料の免除期間・納付猶予期間がある方へ

国民年金保険料の免除（全額免除・一部免除・法定免除）、納付猶予、学生納付特例の承認を受けられた期間がある場合、保険料を全額納めた方と比べ、65歳から受けられる年金である老齢基礎年金の受け取り額が少なくなります。

将来受け取る老齢基礎年金を増額するために、免除等これらの期間の保険料については、10年以内であれば遡って納めることができます。（年金の追納）

ただし、免除などの承認を受けられた期間の翌年度から起算して、3年度目以降の追納の場合、当時の保険料に一定の加算額が上乗せされます。

追納は、古い月のものから納付することになりますが、次の点にご注意ください。

- ◆一部免除を受けた期間は、納付すべき保険料が納付されていなければ追納はできません。
- ◆「法定免除・申請免除期間」が「納付猶予・学生納付特例期間」より先に経過した月分である場合は、どちらを優先して納めるか本人が選択できます。

追納のお申込みを希望される方は、八戸年金事務所又は役場町民課国民年金係までご相談ください。

ねんきんダイヤル ☎0570-05-1165

☎日本年金機構八戸年金事務所
町民課国民年金係

☎0178④7369
☎0178⑥2246



こんにちは、ちいきほうかつしえん地域包括支援センターです！ No.27

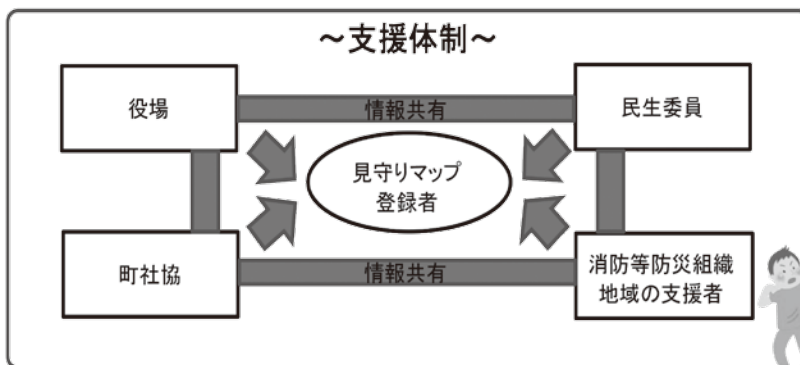
地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが住み慣れた地域で安心して暮らしていくための総合相談窓口です。今回は「おいらせ町見守りマップ」のご案内です。

～おいらせ町見守りマップとは～

ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯の方について、日常の見守り活動や緊急時の助け合いに備えることを目的とした取り組みで、現在約1,700名の方が登録しています。登録されると、民生委員や地域の支援者による見守り活動が定期的に行われます。

～実際にあった事例～

地区民生委員より、「2・3日カーテンが閉まっている」との通報あり。登録情報から親族へ連絡し訪問するとベッドで動けなくなっている本人を発見。救急車で病院へ搬送され、治療につながった。



8月から各地区の民生委員が登録勧奨の訪問を行います。

ひとり暮らし高齢者や高齢世帯だけでなく、同居の家族が日中不在となるため、心配がある高齢者の方も登録することができます。

見守りマップへの登録は、有事への備えの第一歩です。ご不明な点は下記にご連絡ください。

☎おいらせ町地域包括支援センター（分庁舎4階） ☎0178⑥2132

「シリーズ解説・第3回」 町防災基本条例が施行されました 固まらづくり防災課 ☎0178-562131

（地域防災計画への反映）

第4条 町防災会議（法第16条第1項の規定により設置した防災会議をいう。）は、町の地域防災計画を作成するに当たっては、前条に規定する基本理念（以下「基本理念」という。）を反映しなければならない。

（町民の責務）

第5条 町民は、基本理念ののっとり、自己及び家族の安全の確保に努めるとともに、自ら災害に備えるため、次に掲げる事項を実施するよう努めなければならない。

- (1) 自らが居住し、又は使用する建築物その他の工作物の安全の確保
- (2) 家具の転倒及び物品の落下の防止
- (3) 出火の防止
- (4) 初期対応に必要な用具の準備
- (5) 飲料水、食料等自ら必要とする物資の備蓄又は確保
- (6) 地域の危険箇所の把握、避難の経路、方法及び場所の

確認

(7) 防災訓練、講習会等への積極的な参加による、防災に関する情報の取得

(8) 災害に関する教訓の伝承及び継承

(9) 家族の連絡先及び連絡方法の確認

(10) 前各号に掲げるもののほか、日常の災害対策に関し必要な事項

2 町民は、発災後の災害復旧の推進及び支援活動に協力し、復興に努めなければならない。

（事業者の責務）

第6条 事業者は、基本理念ののっとり、事業活動に伴う災害発生を防ぐとともに、社会的責任を自覚し、災害に備えるため次に掲げる事項を実施するよう努めなければならない。

- (1) 初期消火、救難・救助、応急手当、避難誘導その他の初期活動を行うための準備
- (2) 事業所に来所する者及び従業員並びに事業所の周辺地域における町民等の安

全の確保

(3) 町又は町民等が行う災害対策活動との連携及び協力

(4) 従業員の防災訓練、講習会等への積極的かつ継続的な参加

(5) 防災活動の推進及び危機管理体制の整備

(6) 所有し又は管理する建築物の耐震性の確認及びその結果に基づく耐震補強

(7) 地震による機械設備等の転倒の防止

(8) 事業者として必要な飲料水及び食料並びに物資の備蓄

(9) 前各号に掲げるもののほか、災害に備えるために必要な事項

2 事業者は、発災後の災害復旧の推進及び支援活動に協力し、復興に努めなければならない。

【解説】

第4条（地域防災計画への反映）
本条例と町地域防災計画は
お互いを補完し合うものであり、地域防災計画を修正する場合には本条例を基本理念として扱います。

第5条（町民の責務）

町民は、法令や地域防災計画の規定の有無に関わらず、

防災対策の実施について一般的な努力義務があります。町民が自らの責任において、災害に平常時から備えるべき基本的事項を定めるとともに、それぞれの事項について具体的な手段を講じることにより、防災対策に関する意識の高揚を図り、努力義務とすること、町民による自助の取組が抵抗感なく受け入れられることが期待されます。

なお、災害対策基本法にも、住民の責務として、生活必需品の備蓄や防災活動への参加、災害教訓の伝承への寄与が規定されています。

第6条（事業者の責務）

基本理念ののっとり、事業活動に伴う災害発生を防ぎ、社会貢献を自覚し、災害に備えるため事業者が努力する基本的事項を定めるとともに、それぞれの事項について具体的な手段を講じるよう努力義務を課したものです。

もしもの時のために！
災害に備えて
「防災用品」を
準備しましょう

「防災用品」は、災害発生時に役立つ「非常時持出品」と災害発生後から復旧するまでの間の「非常時用備蓄品」に分けて準備しましょう。

非常時持出品（例）

飲料水、食料品（カップ麺、缶詰、ビスケットなど）、貴重品（通帳、印鑑、現金、保険証など）、救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）、懐中電灯、携帯ラジオ、衣類（上着、下着、軍手、雨具など）、その他（タオル、予備電池、カイロ、ウエットティッシュ、洗面用具など）

非常時用備蓄品（例）

飲料水、食品、衣類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、卓上コンロなど

使用するときには支障の無いように、定期的に点検しましょう。特に食品や飲料水の賞味期限は早めにチェックし、賞味期限が過ぎたものから順に入れ替えをおきましょう。



大津波からの緊急避難のために 百石道路に避難階段整備

本町地区・秋堂地区・苗振谷地区の、大津波発生時の緊急避難場所として百石道路4箇所に避難階段を整備しました。これは、東日本大震災後に青森県が発表した最大津波浸水想定により、本町地区周辺に最大5m～8m程度の津波が来ることが予想されたことから整備されたもので、緊急時は1箇所当たり約100人程度が避難できます。

○周辺住民の大津波避難の考え方

大津波発生時、本町周辺の方々は、想定浸水域外にある大津波避難場所の木内々小学校、百石中学校まで避難する必要があります。しかし、身体その他の事情により、大津波避難場所までの徒歩避難が困難である場合は、近くの緊急避難場所に避難することになります。この場合の緊急避難場所とは、想定浸水域内にありながらも津波の及ばない高台のことです。本町地区周辺の緊急避難場所（施設）は、百石小学校3階、百石高等学校3・4階、桃川（株）4階、百石道路避難階段、おいらせ町役場分庁舎3・4階、タケダスポーツ下田店4階があります。

1号避難階段（法運寺付近）



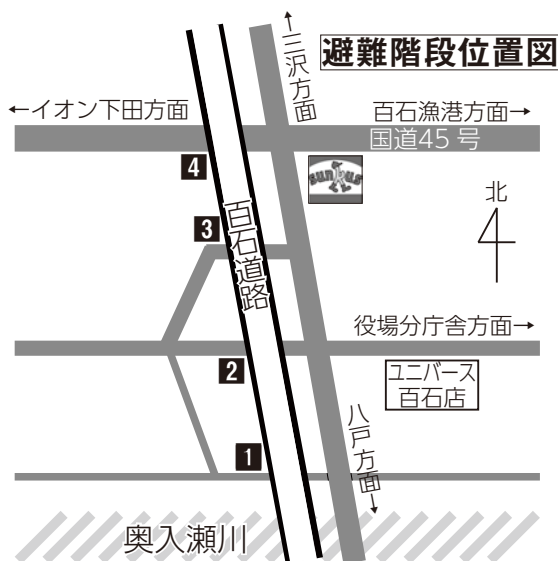
2号避難階段（ユニバース付近）



3号避難階段（秋堂町内）



4号避難階段（国道45号沿い）



**避難階段竣工に伴う
住民説明会を開催**
町では、7月3日、百石道路避難階段内で、本町地区、秋堂地区および苗振谷地区の住民を対象に、階段の利用に関する説明会を行いました。

▶緊急時は扉の取っ手付近を突き破り、内側から解錠してください。



避難階段の出入口扉

【検証組織】 まち・ひと・しごと創生総合戦略会議検証部会（6名）

【検証方法】 事業概要や自己評価が記載された調書を基に担当者からの説明及び質疑応答を行い、成果目標の達成度などから有効性と将来性について検証しました。

※事業概要や検証結果を抜粋して掲載しております。詳細は町ホームページをご覧ください。

町民バス 拡充事業

事業概要 事業費：1,627 千円

通院者や通学者等の利便性向上のため、現在運行している町民バスの一部路線を実証試験を兼ねて拡充した。

【拡充路線】 南線：鍋久保→病院
東線：百石高校→三沢駅

検証

必要性は十分に理解するが、費用対効果が極めて低い。原因が、広報周知に問題があるのか、そもそも絶対数（ニーズ）が無いのか、精査して見極める必要がある。また、交通手段の選択、デマンドバス（※2）の運行など地域交通の専門家に意見を求めることも必要である。

※2 「デマンドバス」利用者の要求に対応して運行する形態のバス。

百石高等学校 アクティブ ラーニング 支援事業

事業概要 事業費：2,127 千円

地元高校の学力向上や教育費の負担軽減による生徒の確保、将来の町を担う人材育成を図るためスキルアップ支援（検定料助成）や生徒が主体的・協動的に学び合う学習に使用するタブレットPCやプロジェクター購入費を助成した。

検証

学力向上、人材育成のほか高校のイメージアップなどに効果があり高校存続のためにも継続するべきである。

地場産米・ 酒の消費 PR推進事業

事業概要 事業費：831 千円

地元産米「まっしぐら」で造る日本酒「穂の泉」の製造を後押し、米の販売促進と農家と地元酒造業者の連携・商品開発による地域活性化のため、米とお酒のパッケージ商品化等に係る経費を助成した。

検証

事業立ち上げのPRに補助し、軌道に乗れば支援は不要と考える。
また、生産量が2tであれば、米の使用量も限定的であり、PR・ブランドの観点では良いが、基本目標であるしごとの創出には厳しい。PRに留まらず製造・販売の拡大に注力すべき。

多子出産 祝金事業

事業概要 事業費：5,500 千円

子どもの出産から子育てに係る負担を軽減し、安心して出産、育児できる環境を整えるため第2子以降の出産に対し祝金を交付した。

検証

少子化対策として必要性はあるが他の自治体を追った、一律的な交付と見受けられる。他市町村の支給基準等と比較して内容を再検討する必要がある。
また、第3子以降への支給額を維持又は引き上げるべきと考える。

③補助金の交付の目的は、最終的に団体や事業を自立させることにある。税金を投入した結果、将来性も含めてどのような効果が組織や地域にもたらされたのか、そのために効果的に使われたのかが重要。事業費イコール補助金の事業は、本来町でやるべきものを団体に丸投げしていることになる。補助金を受ける回数が多くなればなるほど、補助金が税金であることの意識が薄れる。

地方創生先行型事業の検証結果

町では、少子高齢化などによる人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある地域社会を維持するため「おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を昨年10月に策定し、さまざまな施策に取り組んでいます。この度、「まち・ひと・しごと創生総合戦略会議検証部会」を開催し、平成27年度に国の交付金を活用して実施した地方創生先行型事業の検証作業を行いましたので、その結果を公表します。

おいらせ町 総合戦略 策定事業

事業概要 事業費：7,078千円

【総合戦略策定】

人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある地域を維持するために「町人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定した。

【空き屋調査・管理システム構築】

町内の空き家を調査し、危険空き家の対策と移住・定住に向けた利活用を推進するため空き家管理システムを構築した。

検証

事業実施でどのように人口減少に歯止めがかかるのか、雇用創出につながるのかという視点が不足している。評価できる成果目標を設定しなければ、改善に結びつかない。

空き家システムは、民間不動産事業者との連携による空き家バンク（※1）の創設を早期に推進するべき。

※1 「空き家バンク」町内の空き家を有効活用するため、住宅の売却、賃貸などを希望する所有者から申込みを受けて登録した情報を、町内への定住などを目的として、その住宅の利用を希望する者に提供するシステム。

地域空き 店舗活用 支援事業

事業概要 事業費：7,529千円

【街なかサロン運営】

商店街の空き店舗を活用し、開業・起業への情報提供やお試し店舗スペース、町民のサークル活動などの拠点施設である街なかサロン「みんなの休憩所」を開設した。

【空き店舗活用支援】

空き店舗や空き事業所を活用して開業・起業する人を支援した。

検証

街なかサロン運営は、現状では投資効果に対する事業の継続性や将来性が低く、事業費全体のうち固定経費の割合が高く、精査する必要がある。

空き店舗活用支援は、評価の対象を相談や助成の「件数」だけでなく、経営状況などから「継続の可能性」を見極め、評価するべきである。

移住促進 事業

事業概要 事業費：15,026千円

町外からの移住・定住を促進するため転入して住宅を新築、購入する者や転入して合併浄化槽を整備する者に対し助成金を交付した。

この他、首都圏での移住フェアへ出展し、移住者向けパンフレットを作成して町をPRするとともに移住や仕事に係わる相談会を開催した。

検証

利用者の満足度の把握も含め、効果の測定方法に工夫、改善が必要である。広報周知の方法も一律的で、もっと地方創生の視点を加え、強化する必要がある。

若者世帯の移住・定住は、町内転居ではなく、町外からの移住にターゲットを絞った方が良い。

農業生産基盤 強化のための 機械購入 支援事業

事業概要 事業費：1,988千円

農家の米価下落等による収入減少に対応できるような生産コストを低減する直播栽培を推進し、農家の経営安定を図るため、直播栽培に要する機械購入を支援した。また、新たな特産品の開発及び生産拡大等の取り組みに必要な機械購入を支援した。

検証

農家の効率化、大規模化、集約化に非常に良い事業だと思われるが、補助した農家の機械導入前・後の売上・利益等の変化を追跡・調査し、自立性や将来性まで言及するとともに今後に生かすことが大切である。

もち小麦の販売は、いかに栽培農家を増やし、製造から販売までの体制を構築するかが課題である。

全体意見

- ①表面的な実績値だけでは、有効性、将来性の視点に立った効果を測定することができない。質的評価をどのように数値化するかがポイント。このことにより、成果目標の精度は向上するはず。
- ②事業目的の視点が従前の枠組みから脱しきれていない。事業の実施によりどのように人口減少に歯止めがかかるのか、雇用の創出につながるのかという視点を加えなければ、地方創生の成果目標は形式的なものになる。

日ヶ久保虎舞 六魂祭に出演

東日本大震災からの早期復興を願って一年に一度、東北各県の6つの夏祭りが集結するお祭り「六魂祭」が、今年には最終地青森市で開催されました。6月25日、当町から、本州最北端に伝わる日ヶ久保虎舞が、午前11時半と午後4時の2ステージに出演し、3匹の虎が練り歩き、会場を大いに盛り上げました。



▶ステージ上で舞う日ヶ久保虎舞

平成28年度 町内遺跡の試掘・ 発掘調査始まる

町内における各種開発工事に伴う発掘調査が、6月21日から始まりました。中野平遺跡では、阿光坊古墳群が造られた時代と同時期の集落と思われる竪穴住居が3軒確認されました。今年度調査は、9月末まで行われます。



上十三・十和田湖
広域定住自立圏
のイベント情報
をお伝えします。

十和田市

十和田市夏まつり第59回花火大会

- 日時 8月14日① 19時～
- 場所 十和田市陸上競技場
- ☎(一社)十和田市観光協会 ☎0176②43006

七戸町

模型のタミヤがやってきた展

- 日時 8月6日①～9月4日①
10時～17時半
- 場所 鷹山宇一記念美術館
- ☎(一社)鷹山宇一記念美術館 ☎0176②5858

三沢市

三沢まつり

- 日時 8月18日①～21日① ※18日は前夜祭
- 場所 中央商店街区
- ☎(一社)三沢市商工会 ☎0176⑤2175

東北町

東北 Techno music festival 2016

- 日時 8月20日① 14時開始
- 場所 東北町清水目オートキャンプ場
- ☎(一社)上十三若者ネットワーク9根
会長 原田 惇 ☎090-1855-6199

野辺地町

2016のへじ祇園まつり

- 日時 8月18日①～21日①
- 場所 野辺地町内
- ☎(一財)野辺地町観光協会 ☎0175④9555

横浜町

2016横浜町ふるさとのまつり

- 日時 8月14日①
- 場所 三保野公園、役場前、横浜漁港
- ☎(一社)横浜町産業振興課 ☎0175⑦2111

図書館 / 新着図書

Oirase new-book's information

図書館おすすめの本を紹介します。



夜を乗り越える 一般書
又吉 直樹 著

芸人で、芥川賞作家の又吉直樹が、少年期からこれまで読んできた数々の小説を通して、「なぜ本を読むのか」「文学の何がおもしろいのか」「人間とは何か」を考える。芥川賞受賞作「火花」の創作秘話や、自著への想いも明かす。



ポイズンドーター・ホーリーマザー 一般書
湊 かなえ 著

母と娘。姉と妹。男と女。ままたまらない関係、鮮やかな反転、そしてまさかの結末…。人の心の裏の裏まで描き出す、極上のミステリー全6編を収録。



うめ婆行状記 一般書
宇江佐 真理 著

北町奉行所同心の夫を亡くした商家出のうめは、気ままな独り暮らしを楽しもうとしていた矢先、甥っ子の隠し子騒動に巻き込まれ、ひと肌脱ぐことに…。著者の遺作となる、未完の長編時代小説。



HARD THINGS 一般書
ベン・ホロウィッツ 著

シリコンバレーのスター経営者に慕われる最強投資家が、創業者CEO（最高経営責任者）としてIT系ベンチャー企業を経営した際に経験したありとあらゆる難難辛苦を生々しく語る。



幸せになる勇氣 一般書
岸見 一郎 著

幸福への道を、わたしたちは具体的にどのように歩いていけばいいのか？アルフレッド・アドラーの思想（アドラー心理学）を、「青年と哲人の対話篇」という物語形式を用いてまとめる。

ほかにも新着を取りそろえています

ガブリエル・ゼヴィン『書店主フィクリーのものがたり』／吉田修一『橋を渡る』／涌井学『世界からボクが消えたなら』／柚木麻子『奥様はクレイジーフルーツ』／町田康『ギケイキ』／菅田哲也『硝子の太陽』／小泉今日子『黄色いマンション黒い猫』／工藤美代子『後妻白書』／木舟辰平『電力自由化がわかる本』／瀧本哲史『読書は格闘技』／ほか

Oirase-library event information 図書館の行事

- ★ 本展示・一般 ★ 『山を知る』
8月11日「山の日」にちなんで、山やアウトドアに関する本の展示。
- ★ 本展示・児童 ★ 『夏休みのしゅくだいをかたづけよう！』
読書感想文の課題図書や自由研究の本。

8月の休館日						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■ 図書館まつり
工作教室、リサイクルブックコーナー、おはなし会などを開催。
● 8月20日⑬13時～13時半 おはなし会（MOMOおはなしの会）
● 8月21日⑬14時半～15時 紙芝居の実演（小原章彦さん）

8月の行事		
図書館（あそぼっと）	25日⑬10時半から	幼児のための読み聞かせ
	27日⑬14時から	MOMOおはなしの会
北公民館	20日⑬10時～10時半	おはなし会杉の子

問町立図書館 ☎0178⑤3900

おいらせの 学びカレッジ専門講座

趣味講座▶▶▶

■ レザークラフト講座

- 日時（毎週火曜日、全5回）
8月23日④・30日④
9日6日④・13日④・27日④
9時00分～12時00分
- 場所 東公民館 会議室
- 講師 蛭名 由美子さん
- 定員 15人
- 参加料 材料費として4,000円程度
- 締切 8月16日④まで



問社会教育・体育課

メールアドレス
QRコード

- ◆ 電話での申し込み
☎ 0178 ⑤ 4276
- ◆ メールでの申し込み
（専門講座担当宛て）



yasuko.kosaka@town.oirase.aomori.jp

おいらせ阿光坊古墳館 ボランティア養成講座

来年3月にオープンする「おいらせ阿光坊古墳館」のボランティア養成講座を開講します。古墳館でボランティアとして活動してみませんか？

● 開催日とテーマ

- ① 第1講座 8月25日④
「阿光坊古墳群をめぐる研究状況」
- ② 第2講座 9月1日④
「古墳群の装身具」
- ③ 第3講座 9月8日④
「発掘現場と古墳群現地見学」
- ④ 第4講座 9月15日④
「おいらせ阿光坊古墳館の活用」

● 時間 13時30分～15時00分

※いずれの日も同じ時間です。

● 講師 町社会教育・体育課職員

● 会場 東公民館・2階会議室

※必要に応じて現地で開催します。

● 受講料 無料

● 申込締切 8月12日⑤

問（申込先）社会教育・体育課
☎0178 ⑤4276

町

長のもとへ花束をお届け

▶▶▶ 町婦人会父の日キャンペーン 6/17

町連合婦人会(種市恭子会長)は、6月17日、本庁舎応接室で父の日キャンペーンを実施しました。

婦人会では毎年6月に、父の日を記念して町長のもとへ花束を届けています。両手いっぱいの花束を受け取った三村町長は「とても嬉しいです。婦人会の皆様の心遣いに感謝します。これからもおいらせ町の発展のために精一杯がんばります」と笑顔で応えました。

代表して三村町長へ花束を渡す婦人会の山崎理事▶



元

気に大きく育てね

▶▶▶ 海岸防災林植樹祭 7/1

「地域の力で守り育てる海岸防災林整備活動支援連絡会」(一戸実会長)は、7月1日、一の川河口付近の海岸防災林において、植樹作業を実施しました。植樹には、町赤十字奉仕団と甲洋小学校の児童全学年が参加し、東日本大震災で被害にあった海岸防災林の再生を願うメッセージを添えて、クロマツの苗を植えました。

この日は上北地域県民局の職員によるクイズを交えた防災林の説明もあり、児童たちは森林の大切さを改めて学びました。

願いを込めて木を植える甲洋小学校の児童たち▶



明

るい社会を目指して

▶▶▶ 社会を明るくする運動
・町長への伝達式 7/1

上十三地区保護司会と町更生保護女性会は、7月1日、本庁舎応接室で「第66回社会を明るくする運動」に伴う総理大臣および青森県知事のメッセージ伝達式を行いました。

この運動は、国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築くための活動を行うものです。

このほか両団体は、運動の一環として7月3日の軽トラ市で、啓発のためのティッシュ配りを実施しました。

三村町長へ伝達文を渡す更生保護女性会の吉田会長▶



長

寿のお祝い、いつまでも元気でいて

▶▶▶ 長寿祝い金贈呈 7/3



町は、7月3日、お食事処・野ぎくで100歳を迎えられた松林セヌさん（一川目在住）へ長寿祝い金を贈呈しました。セヌさんは、大正5年に旧下田町間木地区に4人姉妹の長女として生まれ、6月28日に合併後24人目となる満100歳を迎えられました。この日は、県外からも大勢の親族らが集まり、セヌさんの長寿を祝いました。

町では、100歳を迎えた町民に対して、敬愛と祝福の意を込めて祝い金を贈呈しております。

◀セヌさんをかこんで記念撮影する親戚一同と三村町長

子

子どもの安全、守るため

▶▶▶ 町内横断旗の設置・補充作業 6/30



町青少年育成町民会議（久保田良一会長）は、6月30日、町内で横断旗の設置・補充作業をしました。

児童が安心・安全に登下校ができるように、折れて使えなくなってしまったものを取り替える作業や、足りない場所へ補充する作業などを行いました。

青少年育成町民会議は、町を子どもたちにとって住みよい地域にしていくため、今回の活動以外にも年間を通じて、危険個所の巡回や「家庭の日」の標語募集など、様々な青少年健全育成活動を行っています。

◀横断旗の取り換え作業を行う会議メンバーの様子

児

児童館の今後を考える

▶▶▶ 児童館説明会 7/5~7/7



町は7月5日から7日までの3日間、町内4か所の各児童館の今後の運営に関する利用者・住民説明会を、初日は南部児童センター、2日目は北公民館、3日目は向山児童館でそれぞれ開催しました。

説明会では、各児童館利用者などを対象に行ったアンケート結果をもとに、南部児童センターの名称変更、木ノ下児童館の移転改築に伴う北部児童センターとの統合による新児童センターの設置と名称、木ノ下小学校区における利用児童館の地区別制限撤廃、向山児童館の今後の運営などについて町から方針案を説明し、参加者らと意見交換を行いました。

◀北公民館での新設統合後の児童館運営に関する説明会の様子

戸籍の窓

こんにちは赤ちゃん

11件/届出22件

野月 虹蓮くん 緑ヶ丘

(竜弥・真理子)

田中 優来ちゃん 二川目

(卓夫・ちひろ)

張田 滉貴くん 二川目

(秀人・智美)

山口 莉愛奈ちゃん 鶉久保

(祐平・香菜)

内山 大輝くん 青葉

(浩晃・えりか)

川口 凜桜ちゃん 藤ヶ森

(圭太・沙弥加)

矢島 瑠奈ちゃん 鶉久保

(健史・香苗)

吉田 空叶くん 染屋

(友紀・真美)

高橋 美愛ちゃん 奥入瀬団地

(哲也・暁子)

鈴木 權偉くん 一川目

(浩文・真子)

吉田 英茉ちゃん 藤ヶ森

(ブルーノ・恵心)

結婚おめでとう

2件/届出7件

(立花 尚人 八戸市)

(二川目 杏樹 二川目)

(佐藤 優 五丁目)

(信平 華佳 八戸市)

※6月に町へ届出し、掲載希望した人を載せています。

お悔やみ申し上げます

14件/届出17件

須藤 力 住吉町

市村 フサ 染屋

成田 アキエ 秋堂

中谷 祐一 木ノ下

柏崎 順子 木内々

原田 芳太郎 一川目

近藤 ハツエ 上新町

上久保 利幹 木ノ下

袴田 英子 間木

藤澤 弘子 緑ヶ丘

村崎 きぬ 秋堂

一戸 常光 緑ヶ丘

種市 カヨ 新敷

田中 訓 本村

まちの人口

平成28年 7月1日現在

	前月比
男性 12,193 人 (43) +14	
女性 13,068 人 (100) +17	
合計 25,261 人 (143) +31	
世帯 10,056 世帯 (50) +5	

※外国人を含めた数値です。
()内は外国人人口と外国人世帯数

多子出産祝金のご案内

町では第2子以降の子どもが生まれたご家庭に出生祝金を支給しています。

支給額は第2子5万円、第3子以降10万円です。支給には一定の要件がありますので、詳しくはお問い合わせください。

町民課子育て支援室

0178-564259

戦没者等のご遺族の皆様へ
第10回特別弔慰金の申請受付中

詳しくは下記受付場所へお問い合わせください。

本庁舎受付：町民課

☎0178-562246

分庁舎受付：分庁サービス課

☎0178-564214

町教育委員会定例会の開催情報

●日時 8月25日(水) 15時
●場所 みなくる館

なんでも創作室

※日程は変更になる場合があります。議題により退席いただきます。議題により退席いただきます。5人以上で傍聴希望の場合は前日までご連絡ください。

町学務課 ☎0178-564258

寄附・寄贈ありがとうございます

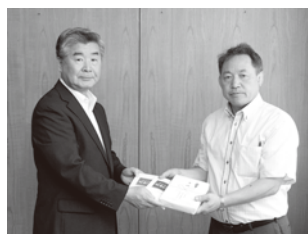
奨学資金寄附

北日本企画(柏崎代表)が、6月21日、町の奨学資金へ「第8回歌謡選手権東北大会(北日本企画主催)の収益の一部を寄附されました。



こども手帳の寄贈

日本公衆電話会青森県分会(橋本精二会長)が、7月5日、町教育委員会に交通ルールやエコの推進などが記載された「こども手帳」を寄贈されました。



タオル寄贈

町体育協会(平野敏彦会長)が、日頃練習で使用しているいちよう公園体育館、町民交流センター、農村環境改善センターへ感謝を込めてタオルを寄贈されました。



「広報おいらせ有料広告」の募集

1号広告：1万2千円(17.5センチ×6センチ)
2号広告：6千円(8.5センチ×6センチ)

町総務課 ☎0178-562166

災害時の避難所運営のために 避難所運営訓練を 実施しました

町は、7月3日、百石中学校で避難所運営訓練を実施しました。これは、地域の防災リーダーが災害時、スムーズな避難所運営を行えるようにするために行ったもので、自主防災組織のメンバーや女性消防団員のほか、百石中学校生徒ら約85人が参加しました。

参加者は各役割ごとの班に分かれ、避難所生活でのルール作成や、避難所の空間づくり体験、非常食の配膳体験、耳の不自由な方への対応要領などを行いました。

また、この日は避難所運営のほか、おいらせ消防署と八戸圏域水道企業団の協力により、応急給水訓練や、地震体験、応急処置体験なども行われ、非常時の備えについて学びました。



▶想定される事態に対し、避難所のルール作成を話し合う参加者たち。



▶目の不自由な方の受付方法を相談し、筆談で対応する生徒
▶地震体験者で大地震の揺れを体験する生徒

川口彰五郎さん

観光功労者表彰を受賞

町観光協会顧問の川口彰五郎さんが、(公財)青森県観光連盟(大黒裕明理事長)より、永年にわたり観光事業に尽力された功績を称えられ、観光功労者表彰を受けました。

川口さんは、長年カワヨグリー牧場を経営してきたほか、昭和58年の下田町観光協会の設立当初から副会長及び会長職を歴任し、平成18年のおいらせ町観光協会の設立以来、顧問として永きにわたって、観光資源の創出や各種イベントの企画運営を行い、観光情報の発信に尽力するなど、青森県の観光振興に貢献してきました。



▶夫婦で授賞式に参列した川口彰五郎さん

編集後記

だんだん暑い日が多くなってまいりました。夏バテ注意の季節が到来です。モールウォーキングの取材では、エアコンの効いた快適なモール内を参加者と一緒歩きました。ぐるりと歩いてみると結構な距離で、額に汗をかいておりました。涼しい場所ので、買い物がてらのウォーキングならば、楽しんで続けられそうですね。

また、「おいらせの学びカレッジ・一般講座」が開講いたしました。初回の講師は国語学者の金田一先生。「言葉はより良い関係性を築くための道具」であるというお話を聞き、高校時代、英語の先生に「英語は学問ではなく、コミュニケーションのツール」と言われたことを思い出しました。重要なことは、相手に気持ちを伝えようとすると熱意ですね。今後とも、皆様に伝わる広報を作っていきたいです。

総務課 広報広聴係・堤

石田 正人 さん (六丁目)

【空手】極真会館二〇一六東北地区交流大会

組手・一般男子上級の部 優勝



Profile

いしだ・まさと さん
本町六丁目に住む。函館ラ・サール高等学校を卒業。幼少の頃から一貫して空手を続けており、「今後とも稽古に励んで高みを目指していく」と語る。18歳。

6月29日、青森県武道館において開催された空手の「二〇一六年東北地区交流大会」(国際空手道連盟・極真会館主催)において、石田正人さんが一般男子上級の部において優勝を飾りました。

石田さんが空手を始めたのは4歳の頃。そこから一貫して空手を続けており、中学生の頃にはジュニアの黒帯を取得。年内には一般の黒帯も取得予定とか。

「強い相手と戦って勝ち抜いたときはとても爽快で気持ちがいいです。この気分を味わうため、空手を続けています」

楽しそうな表情で、石田さんは空手の醍醐味について語ります。

石田さんは現在、火・木・日曜日の週三回、八戸市武道館へ通って稽古を積んでいます。石田さんが空手を始めたばかりの幼い頃は、子どもから大人まで大勢の門下生とともに稽古に励んでいましたが、最近ではこの地域の空手人口も減少傾向にあるそうです。

「この先も空手を続けて、より強くなりたいです。この地域でも、空手をやる人が今より増えてくれると嬉しいです」と、今後の意気込みと希望を語りました。



「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち」の情報誌

広報 おいらせ

No.138 2016年8月1日発行号